

日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2023. 9. 7 NO. 385

連絡先 荻窪5-15-19-704

☎ 080-5531-8236

区議会控室 ☎ 3312-2111 (内) 2319



↑ ホームページ



区議会第3回定例会 補正予算

学校給食費無償化の費用を計上

記者会見で紹介された主な事業

■学校給食費の無償化 9億4449万円

- ・対象 区立小・中・特別支援学校 64校
29,500人
- ・実施時期 令和5年10月～令和6年3月

■保育施設に通う第二子保育料の無償化

3200万7千円

- ・これまで2分の1を軽減。さらに負担軽減するため無償化する

■自転車用ヘルメット助成 2192万6千円

- ・ヘルメット着用促進講習会受講者 最大5千円 250名
- ・上記以外 最大3千円 6,750名

■高齢者補聴器購入費助成 462万9千円

- ・実績を踏まえ120人分を追加

■光熱費等の支援 2億3012万6千円

- ・公衆浴場、介護事業者、保育所等にたいする光熱費等の支援。下半期分の追加経費

■気候変動対策の推進 4729万8千円

- ・再生可能エネルギー等の導入助成、断熱改修等エネルギー対策助成などの追加経費
- ・(仮称)気候区民会議の開催

■対話によるまちづくりの推進

342万円

- ・「(仮称)阿佐谷まちづくりセッション」の開催
- ・都市計画道路133号線に係る対話集会の開催



給食費無償化 党区議団は繰り返し要求

9月5日、岸本区長は記者会見をひらき、第3回定例会に提案する補正予算(第4号)を発表しました。(主な事業は左表参照)

今回の補正予算には、岸本区長が公約に掲げ、日本共産党区議団が長年にわたり、繰り返し求めてきた学校給食費の無償化の費用が計上されました。実施時期は10月から来年3月まで。来年度については、「国の動向を踏まえ、実施の是非を検討する」と述べました。

補聴器購入費助成、物価高騰対策の追加経費も盛り込む

今年6月から始まった高齢者の補聴器購入費助成は、多くの申し込みがあったため当初予算と同額の費用を計上。また、長期化する物価高騰の影響をふまえ、事業者にたいする光熱費等の追加経費も盛り込みました。このほかにも、補正予算には、党区議団が求めてきたことが多数反映されました。区民のくらしをまもり、区民参加の区政の前進のために全力を尽くします。

お困りごと・ご相談は、お気軽に上記連絡先まで、お電話ください

10月1日より申請受付開始 中小事業者への光熱費高騰緊急対策助成金

杉並区は、区内中小事業者に対し、光熱費の高騰による経営への影響を緩和し、経営の安定化を図るため、光熱費（電気・ガス）の一部を助成します。10月1日より申請の受付が始まります。該当する方はぜひご活用ください。

制度の概要

対象経費	令和5年4月から令和5年9月使用分（最大6カ月分）に係る光熱費
対象事業者	区内中小企業事業者（要件あり。詳細は区ホームページ参照）
申請方法	オンライン申請フォーム（10月1日に公開）から申請。または申請書（9月15日以降に公開）をダウンロードし、記入の上、杉並区光熱費高騰緊急対策助成金審査センター（品川区南品川5丁目2番10号 佐川印刷東京ビル）まで郵送で提出。申請期間＝10月1日～12月31日（消印有効）

助成額

●事業所（※）の場合

助成対象経費の合計額	助成額
60万円未満	6万円（合計額が6万円未満の場合は実費額。1000円未満切り捨て）
60万円以上90万円未満	9万円
90万円以上120万円未満	12万円
120万円以上	15万円

●自宅兼事業所の場合

助成対象経費の合計額	助成額
60万円未満	3万円（合計額が6万円未満の場合は実費額の2分の1。1000円未満切り捨て）
60万円以上90万円未満	4万5000円
90万円以上120万円未満	6万円
120万円以上	7万5000円

※事業所を複数所有しており自宅兼事業所を含む場合は、自宅兼事業所の経費を2分の1にし、他事業所分と足しあげて計算。

■問い合わせは、杉並区中小企業光熱費高騰緊急対策助成金コールセンター（9月15日から開始）

電話：0120-270-094（フリーダイヤル）

営業時間：午前8時30分から午後5時15分（土日、祝日を除く）

■詳細は、区ホームページ（右2次元コード）をご覧ください。



★第3回定例会 一般質問の日時が決まりました

9月12日（火）午前3番目

前の質問者の質問時間によって前後しますが、11時から11時30分の間に開始になる見込みです。質問項目は「国民健康保険」「住宅施策」です。ぜひ傍聴にお越しください。